

統計・業務分析サブシステムに連携する情報について

1. 本資料の概要

-別紙2項番24の要件について、統計・業務分析サブシステムに提供するデータ項目の一覧である。

2. 参照資料

・なし

3. 留意点

-対象となるデータ項目についての集計は実際は統計・業務分析サブシステムで行うこととなるため、本システムではデータの管理、抽出および統計・業務分析サブシステムへのデータ提供を行えるよう設計を変更すること。

統計・業務分析サブシステムに連携する情報について

- ① 統計・業務分析サブシステムで「表1に挙げる項目を表2に挙げる軸ごとに集計する」ことができるようデータ項目を管理し抽出できるよう設計を変更する。
- ② 上記の情報を統計・業務分析サブシステムに提供できるよう設計を変更する。

表. 1

I	処理件数(被保険者単位)
II	処理件数(届書枚数単位)
III	処理件数(事業所単位)
IV	処理日数(被保険者単位)
V	処理日数(届書枚数単位)
VI	処理日数(事業所単位)
VII	処理時間(被保険者単位)
VIII	処理時間(届書枚数単位)
IX	処理時間(事業所単位)

表. 2

No.	軸	補足
1	期間	年度、月、週、日単位ごとの集計を行う。
2	拠点	全国、ブロック、事務センター、事務所等の拠点における各単位ごとの集計を行う。
3	拠点区分	受付、回送、処理拠点等の区分単位ごとの集計を行う。
4	課・G	拠点内における課、グループ単位ごとの集計を行う。
5	担当者	指定した担当者(全選択含む)ごとの集計を行う。
6	職員区分	正職員、特定業務職員、委託業者等の区分単位ごとの集計を行う。
7	制度	厚生年金保険、国民年金、船員保険等の制度単位ごとの集計を行う。
8	届書	様式コード、届書コード等により識別される届書ごとの集計を行う。
9	届書区分	紙媒体、QRコード付届書、電子媒体、電子申請等の区分単位ごとの集計を行う。
10	届書受付区分	新規受付、再受付等の区分単位ごとの集計を行う。
11	届書受付方法	窓口、郵送受付等の区分単位ごとの集計を行う。
12	ステータス	経過管理ステータス、処理ステータス等のステータスごとの集計を行う。
13	実績値	委託誤パンチ率、委託誤入力率、一括審査、個別審査等の処理の実績ごとの集計を行う。
14	届書データ	返戻理由、回送理由等の区分単位ごとの集計を行う。
15	システムチェック結果	システムチェックを実施したことにより警告、エラーが出力されたものについて集計する。
16	現行システム更新結果	現行システムの原簿更新結果を受け取った届書のうちエラー、警告が出力されたものについて集計する。
17	提出者	提出主体(事業所、被保険者)の区分単位ごとの集計を行う。